

## マネージメント情報

※創業者であり現社外取締役の黒崎尚敏が今年度の宇都宮賞受賞のお知らせ

新年早々うれしい知らせがあります。

公益財団法人宇都宮仙太郎翁顕彰会は令和5年1月11日に本年度の第55回宇都宮賞の受賞者を決定し、弊社創業者の黒崎尚敏が酪農指導の部の受賞者に選出されました。

宇都宮仙太郎翁の命日にあたる3月1日に札幌で表彰式が開催されます。

宇都宮賞の規定には、<公益財団法人宇都宮仙太郎翁顕彰会HPより抜粋>

「公益財団法人宇都宮仙太郎翁顕彰会は、北海道酪農業に関する翁の業績を顕彰し、かつ、継承されることを念願し、宇都宮賞を設けて功績者を表彰し、もって北海道酪農業の振興発展に寄与することを目的とする。」

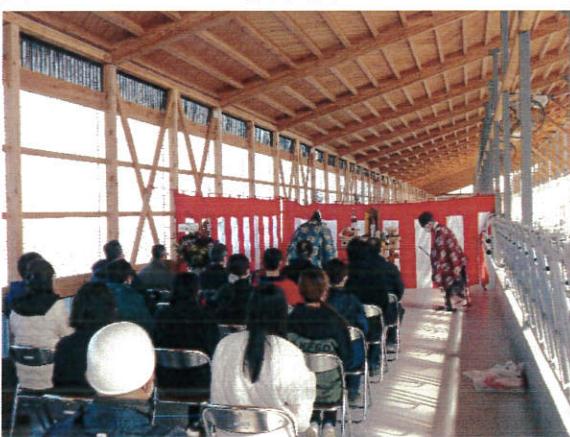
酪農指導の部の選考基準として

「北海道において、酪農業の指導・普及・試験研究などに従事し、誠実な実践活動により酪農業改良に顕著な成績をあげたもの。」とあります。

また、今回の酪農指導の部の受賞は大学・試験場の公的研究機関や農協等の関連団体出身者ではなく初めて民間企業からの選出となったことも特筆すべきことで、黒崎がNOSAIの個体診療中心の獣医療から開業獣医師としてプロダクションメディスン（生産獣医療）という新しい獣医領域に挑戦したことが評価されたのだと思います。

※OPU牛舎が完成しました

昨年12月6日にOPU牛舎の竣工式を無事に執り行うことができました。当初は顧客のみなさん始め関係機関の方々を招待する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係もあり出席者は建設業者の(有)カウコンフォートサービスさん、地区役員の横山吉男さんとTHMS役職員のみとしました。



後日、顧客のみなさん、他お世話になっている方々へお披露目を予定していますのでもう少々お待ちください。

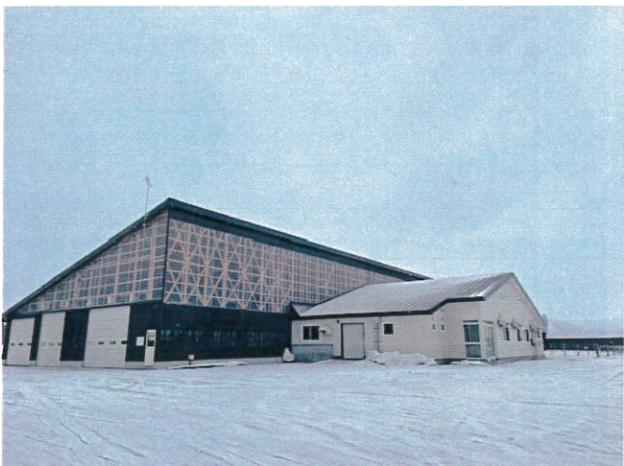
このOPU牛舎建設の目的は第一にはハイゲノムホル斯坦種をドナーとしたOPU-IVPによる体外受精卵の生産と普及 ETを組み合わせた育種改良であり、その次に黒毛和牛の体外受精卵生産と考えています。

牛舎の見た目は大きいのですがドナー頭数はホル 40 頭、和牛 20 頭で 1 ペン 10 頭の合計 6 ペン 60 頭の収容規模です。

12 月 15 日に初の OPU を実施しました。内訳はホルスタイン種 10 頭、黒毛和牛 1 頭の 11 頭です。初の使用でしたが 1 頭にかかる時間は出し入れ含めて約 15 分程度の 2 時間半で終了することができました。慣れてくると 1 日の OPU 可能頭数は 15~20 頭かなと考えています。

現在はホルスタイン種 13 頭、黒毛和種 10 頭のドナーがいます。

#### 【外観】



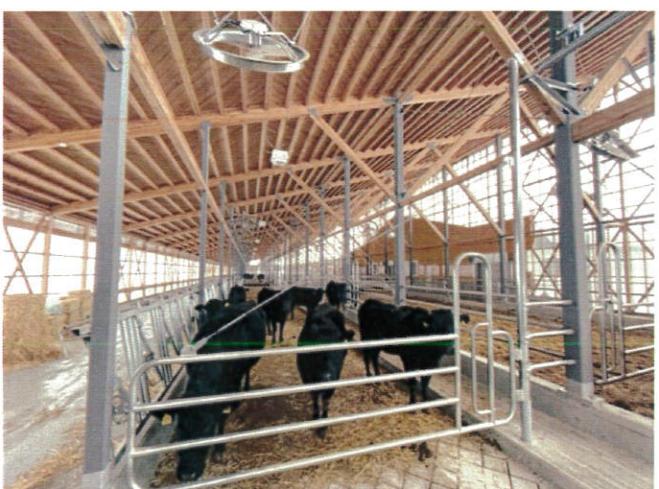
【ホルスタイン種ドナー/13 頭】



#### 【中の様子】



【黒毛和種ドナー/10 頭】



・今年は創業者の黒崎の宇都宮賞受賞という吉報が始まりました。

「顧客のみなさん、会社の仲間、皆で貢献したものだと思います。色々あった、今は本当にそう思います。」とのことでした。

THMS は今年で 29 年目になります。個人開業の動物病院が現在の様に獣医師、人工授精師、胚培養士の技術者がいて今回紹介しました OPU 預託牛舎を所有しているところは全国的にとても珍しいことです。これもひとえに黒崎が平成 4 年に NOSAI を退職し単身プロダクションメディスンを求めて渡米し、平成 6 年にたった一人で総合牛群管理サービスを開業したことになります。そして顧客のみなさん、職員のみんなと共に歩んでこられたからだこの受賞だと思います。